

## なぜ被害が大きかったか？

- **外水氾濫**(川の水が堤防を溢れる,あるいはそれによって破堤する):大量の高速氾濫流が市街地に流入し,住宅被害が短時間に起こる.泥が堆積——新潟,福井の事例
- **内水氾濫**(市街地に降った雨が雨水処理能力を超える,あるいは川が溢れかかっている,ポンプで捨てられない)———今年の福岡・飯塚市

氾濫には外水氾濫と内水氾濫という言葉があります。

外水氾濫とは、川の水が堤防から溢れる、あるいはそれによって川の堤防が破堤した場合等に起こる洪水のことをいいます。外水氾濫の場合には、大量の高速氾濫流が一気に市街地に流入し短時間で住宅等の浸水被害が起こるため、人的な被害が起きてしまう場合が多くみられます。しかも、流れ込んでくるのは泥水のため、洪水が去ったあとも家には土砂が堆積してしまうなど、復旧が大変困難な状況になります。

内水氾濫とは、市街地に降った雨が雨水処理能力を超える、あるいは川が溢れかかっているポンプで捨てられないということで水が溢れるわけです。この札幌市でも1時間に50mm以上の雨が降ると必ずマンホールから雨水が逆流してきます。川が溢れなくてもそれだけの雨が降れば、全国政令指定都市のどこでも同じような状況になります。